

『深海生物の化石』

東海化石研究会

太古から既に生物は深海に棲んでいた！

愛知県や三重県、その他の地域から発見された深海生物、魚類、甲殻類、棘皮動物などを展示予定！

<写真解説>

①ドラスター ミズノイ

産地：愛知県南知多町

新種として報告されているヒトデの仲間で、現在は日本近海には生息していなく、近縁の現生種が西大西洋に生息していて、太平洋では絶滅したようです。

※東海化石研究会の水野様が発見した新種の化石です。

②ナマハゲフクロウニ

産地：愛知県南知多町

フクロウニの仲間で、シート状の柔らかい殻を持っていて、海底に集団で生息する。化石種は現生種とほとんど変わらない。



③ハダカイワシ

産地：愛知県南知多町

体の腹部に発光器の痕跡が残っていて、深海で生息していたと考えられる。



④オキナエビスガイ

産地：千葉県鋸南町鋸山

原始的な貝で、深い所に生息している。



⑤ヒメノディスカス

産地：愛知県南知多町

9本の腕を持つヒトデの仲間。長い腕を海底から持ち上げて、上からの餌を捕食する。中心部に体本がある



⑥メディアステル科のヒトデ

産地：愛知県南知多町

ドラスター ミズノイと同時に算出する。
まだ属まで分かっていない。

